

令和5年度 秋田商業高校中期ビジョン（スクール・ポリシー）

本校が目指す姿

1 学校の現状や課題

本校は、令和2年度に創立百周年を迎えた、長い歴史と伝統を誇る県唯一の商業高校である。県内商業教育の中心校として、専門的な知識・技術及び技能とともに職業人としての倫理観や起業家精神等を身に付け、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う創造性豊かな人材の育成を図ることが求められている。また、本校は2009年にユネスコスクールに加盟し、現在は「総合的な探究の時間（本校においては「ビジネス実践」と呼ぶ）」の中で環境保護に関わる学びを実践するなどの教育活動を展開しているが、その発展的な継承も課題である。

2 学校を取り巻く将来の状況の予測

今日の社会はグローバル化や情報化が一層進展し、Society5.0とも呼ばれる新たな時代が到来している。急速に変貌する社会を逞しく生き抜く若者を育むため、本校においては、ICT教育の推進とともに、地球規模で取り組むべき「持続可能な開発目標（SDGs）」など「グローバル」な視点での実践的な学びも必要である。一方で、本県の人口減少・少子化の影響により、本校においても生徒数の一層の減少が避けられないと予想される。今後の入学定員削減を視野に入れながら、より効果的な教育活動の活性化について検討していかなければならない。

3 スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー（目指す生徒像）

- (1) 志を高く掲げ、主体的に自己の能力を磨き、これからの社会を担う気概をもつ生徒を育成します。
- (2) 豊かな人間性を持ち、他者と協働しながら新たな価値を創造する生徒を育成します。
- (3) 将来を逞しく生き抜く健やかな身体と自律心をもつ生徒を育成します。

カリキュラム・ポリシー（本校の学び）

- (1) 普通教科や専門教科に関する基礎的な知識・技術（技能）を習得し、幅広い教養と専門性を身に付けます。
- (2) 様々な資格取得を通して自己の将来を見つめ、将来のキャリア形成について見通しをもちます。
- (3) ICTを積極的に活用し、主体的・探究的・協働的に学ぶ姿勢を身に付けながら自己の学びを深めます。
- (4) 外部と連携した実践的・体験的な学びを通して、他者と協働しながら、ふるさとを支え地域課題に積極的に取り組み、その解決について考えます。
- (5) 「文武両道」を目指し、向上心をもって力強く成長する逞しさを身に付けます。

アドミッション・ポリシー（求める生徒像）

- (1) 基本的な生活習慣をきちんと身に付けている生徒を求めます。
- (2) 商業を学ぶことに対して大いに興味・関心をもっている生徒を求めます。
- (3) 目標をもって主体的に学習や部活動などの学校生活に向き合い、成長しようとする意欲をもっている生徒を求めます。
- (4) 社会に目を向け、様々な人と協力して物事に取り組む姿勢をもつ生徒を求めます。

5年間を通しての具体的な目標と取組

1 5年間を通しての具体的な目標

- (1) 専門教科及び普通教科の基礎的知識・技術（技能）を確実に習得させ、それらに基づく思考力・判断力・表現力を高める。
- (2) 商業に関する専門性を生かした高度な資格（日本商工会議所簿記検定2級や全国商業高等学校協会情報処理検定1級など）の取得を目指させる。
- (3) 社会的・職業的な自立に必要な資質・能力や態度を身に付けさせるキャリア教育を推進し、自己の将来を見通し、学んだことを生かして社会に貢献しようという志をもたせる。
- (4) 教育活動のあらゆる場面で、生徒が校内外の人々や組織と協力して活動する機会を積極的に創り出し、主体性や協働性を育成する。
- (5) 「文武両道」を掲げて部活動への参加を奨励し、生徒の主体性を伸ばしながら、運動部・文化部ともに全国大会での活躍を目指させる。

2 目標を達成するための具体的な方法、取組等

- (1) 商業の諸科目及び数学や英語において少人数学習を実施し、個々の生徒の学習達成状況に応じたきめ細かな指導を行う。生徒の学びについて、知識・技術（技能）、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点についての評価方法を工夫し、生徒の学びの質を高める。
- (2) 「会計」「流通経済」「情報」の3コース制の下で、それぞれの専門性に応じた資格取得のための検定試験に向けた補習などの対策を充実させ、合格率を高めるとともに、より上位の資格取得を奨励し、積極的に取り組ませる中でチャレンジ精神を育成する。
- (3) 「秋商キャリアシート」の様式や活用方法を改善し、生徒が自ら設定した目標の達成度や取り組むべき課題の認識・分析を通して、主体的に自己のキャリアをデザインしようとする姿勢を育成する。
- (4) 「総合的な探究の時間」において、地元企業や地域社会との連携・交流の中で多様な人々とのコミュニケーションを深め、ユネスコスクールとしての特色を生かしながら商業科の特性を生かした実践的な活動を充実させる。その際、ICTを積極的に活用し、オンラインでの交流や他者につながる機会を増やす。
- (5) 学校の部活動はもとより、地域のスポーツや文化活動への積極的な参加を呼びかける。それぞれの部が高い目標に向かって粘り強く取り組み、全国大会での上位入賞を目指す。また、結果のみにこだわるのではなく、部活動を通じた人格の陶冶や学校の活性化を図る。

